

第2部 調査結果

1 国内実態調査

(1) 関係機関・団体アンケート調査

1) 調査概要

調査期間：平成19年12月19日（水）～平成20年1月11日（金）

調査対象：民間被害者支援団体

調査方法：郵送による依頼および回収

郵 送 数：179 件

回 収 数：93 件（51.9%）

アンケート対象・送付数・回収数（率）

支援者の種別	送付数	回収数（率（%））
＜犯罪被害全般＞ 犯罪被害全般を支援対象とする団体 （主に全国被害者支援ネットワーク加盟団体）	48 件	45 件（93.7%）
＜性暴力・DV等＞ 性暴力・DV等特定の被害類型を支援対象とする団体	131 件	48 件（36.6%）
合 計	179 件	93 件（51.9%）

2) アンケート調査結果のまとめ

①団体の概要について

ア) 設立年数および組織形態（問1）

■ 設立年数

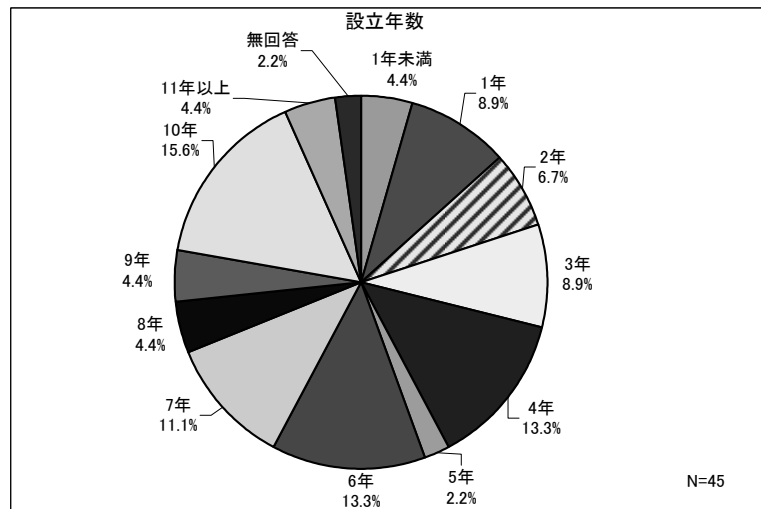
＜犯罪被害全般＞

平成19年12月1日現在の設立年数について聞いたところ、「10年」が7団体（15.6%）と最も多いが、「1年未満」から「9年」までの団体は合計35件（77.8%）あり、多くの団体が設立10年未満である。

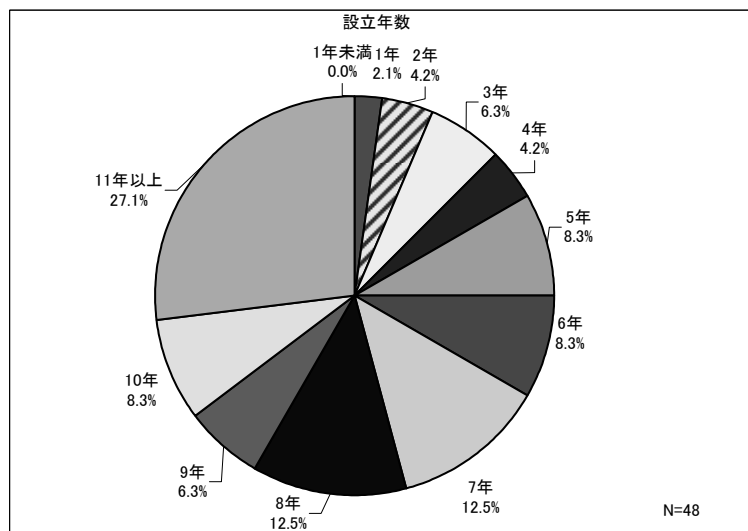
＜性暴力・DV等＞

平成19年12月1日現在の設立年数について聞いたところ、「11年以上」が13団体（27.1%）と最も多いが、「1年未満」から「10年」までの団体は合計35件（73.0%）あり、多くの団体が設立11年未満である。

<犯罪被害全般>



<性暴力・DV等>



■ 組織形態

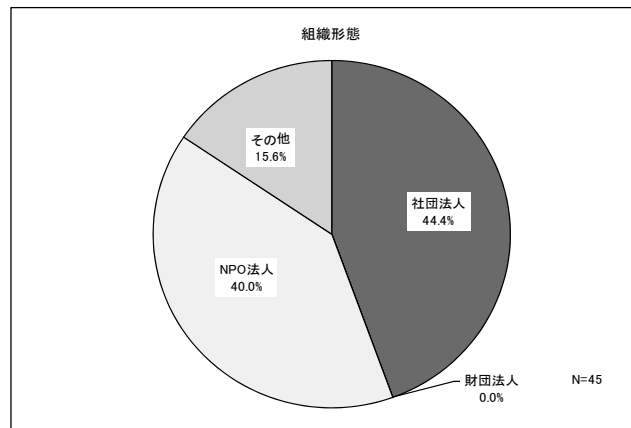
<犯罪被害全般>

組織形態としては、「社団法人」が 20 団体 (44.4%) で「NPO 法人」が 18 団体 (40.0%) となっており、両者で 8 割をこえている。

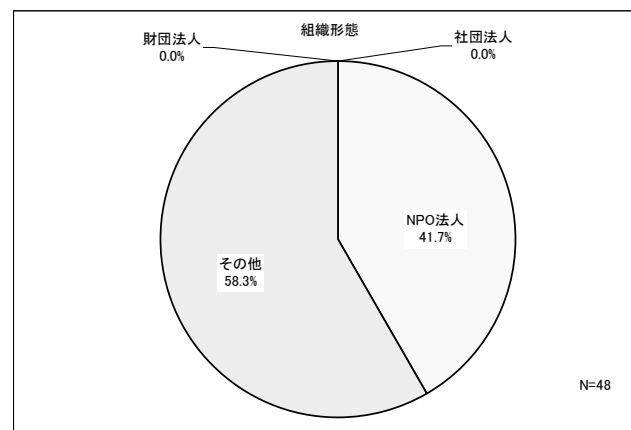
<性暴力・DV 等>

組織形態としては、「NPO 法人」が 20 団体 (41.7%) で、「その他」の団体は 28 団体 (58.3%) であった。「その他」として、具体的に組織形態の記述があったものの内訳としては「社会福祉法人」(4 件)、「NGO」(2 件)、有限会社 (1 件)、株式会社 (1 件) 等があった。

<犯罪被害全般>



<性暴力・DV 等>



イ) 活動類型（問 2）

■ 活動類型

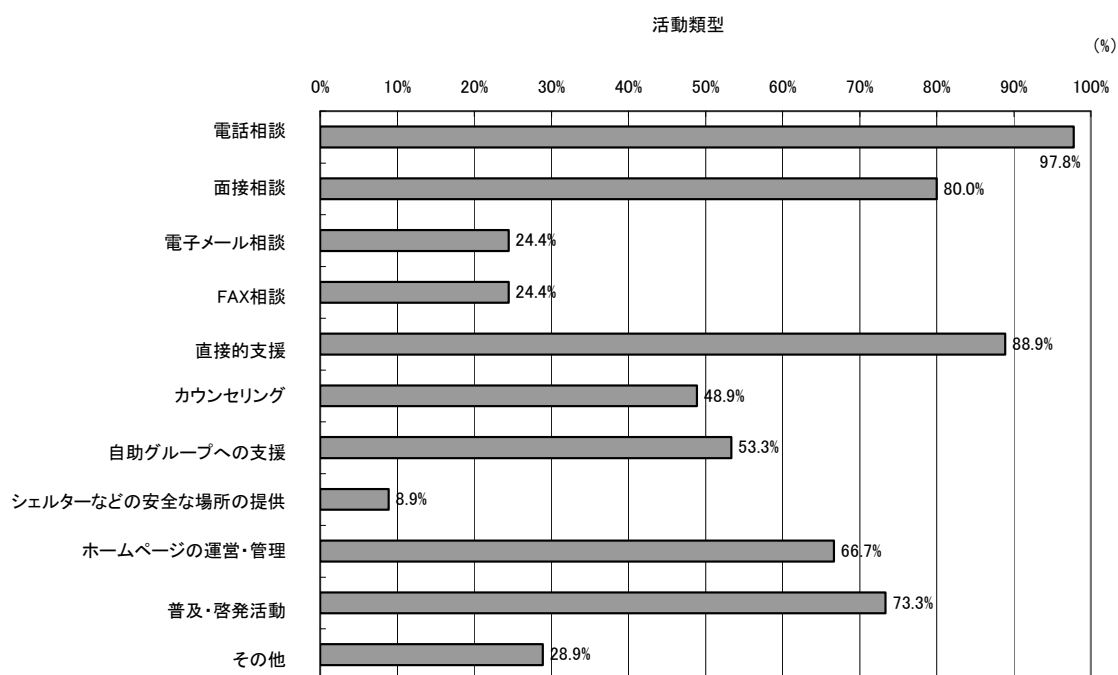
< 犯罪被害全般 >

現在行っている活動類型としては、「電話相談」が 44 件（97.8%）、「直接的支援」が 40 件（88.9%）であり、多くの団体が電話相談及び直接的支援を行っている。「面接相談」は 36 件（80.0%）と上位を占めているが、相談業務のうち、「電子メール相談」は 11 件（24.4%）、「FAX 相談」は 11 件（24.4%）に留まっている。

< 性暴力・DV 等 >

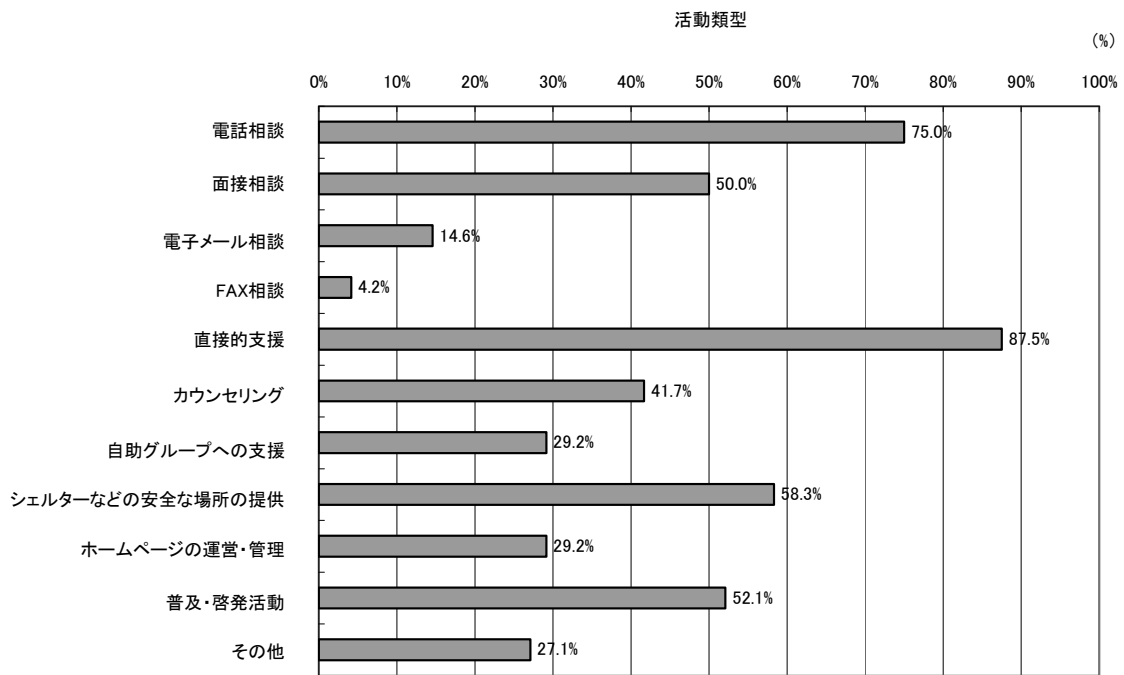
現在行っている活動類型としては、「直接的支援」が 42 件（87.5%）であり、多くの団体が直接的支援を行っている。次いで「電話相談」が 36 件（75.0%）、「シェルターなどの安全な場所の提供」が 28 件（58.3%）、「普及・啓発活動」が 25 件（52.1%）となっている。相談業務のうち、「面接相談」は 24 件（50.0%）と上位を占めているが、「電子メール相談」は 7 件（14.6%）、「FAX 相談」は 2 件（4.2%）に留まっている。

< 犯罪被害全般 >



N=45

<性暴力・DV等>



N=48

■ 電話相談（受付時間・休業日）

<犯罪被害全般>

電話相談を行っている 44 件のうち、一日あたりの受付時間を聞いたところ、「5～6 時間」が 32 件（72.7%）と最も多い。最長が「7～8 時間」の 4 件（9.1%）で、9 時間以上実施している団体はない。

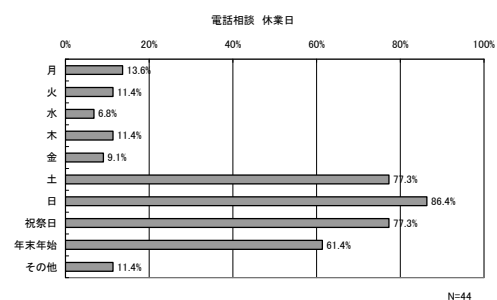
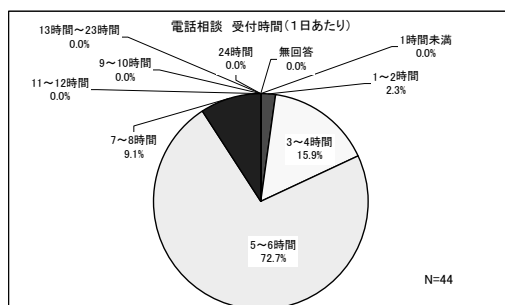
電話相談の休業日は、「日曜日」の 38 件（86.4%）、「土曜日」の 34 件（77.3%）、「祝祭日」の 34 件（77.3%）、「年末年始」の 27 件（61.4%）が上位を占め、土曜日、日曜日、祝祭日、年末年始に休業日を設ける団体が多い。

<性暴力・DV 等>

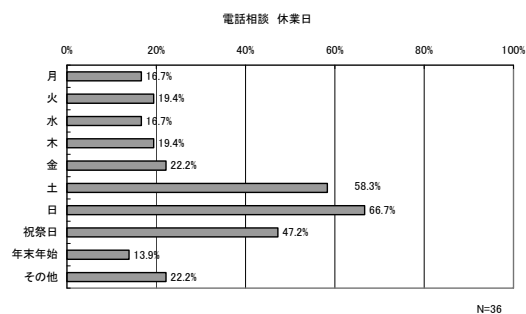
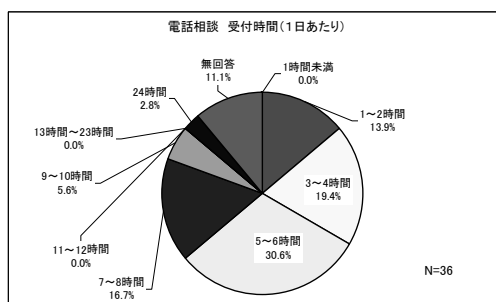
電話相談を行っている 36 件のうち、一日あたりの受付時間を聞いたところ、「5～6 時間」が 11 件（30.6%）と最も多い。11 時間以上実施している団体は、24 時間受付をしている 1 件（2.8%）のみである。

電話相談の休業日は、「日曜日」の 24 件（66.7%）、「土曜日」の 21 件（58.3%）、「祝祭日」の 17 件（47.2%）、が上位を占め、土曜日、日曜日、祝祭日に休業日を設ける団体が多い。

<犯罪被害全般>



<性暴力・DV 等>



■ 面接相談（受付時間・休業日）

<犯罪被害全般>

面接相談を行っている 36 件のうち、一日あたりの受付時間は「5～6 時間」の 27 件（75.0%）が最も多い。また、9 時間以上対応する団体は、0 件（0.0%）である。

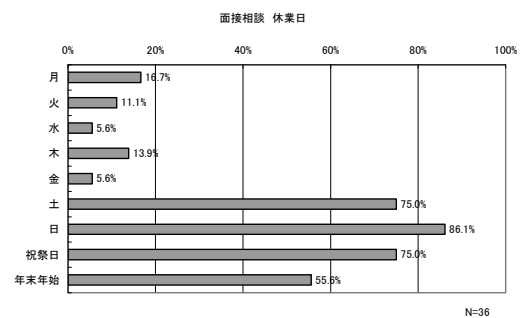
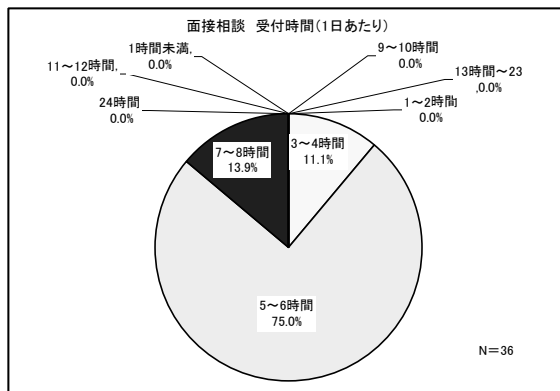
面接相談の休業日は、「日曜日」の 31 件（86.1%）、「土曜日」の 27 件（75.0%）「祝祭日」の 27 件（75.0%）、年末年始の 20 件（55.6%）が上位を占め、土曜日、日曜日、祝祭日、年末年始に休業日を設定する団体が多い。

<性暴力・DV 等>

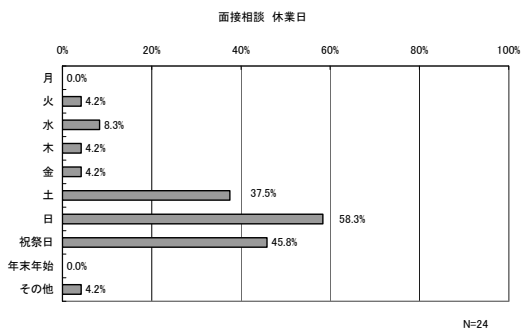
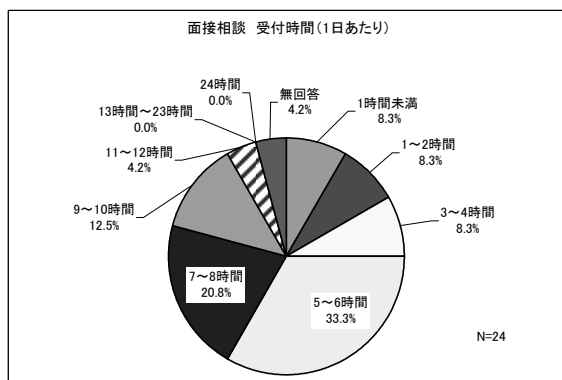
面接相談を行っている 24 件のうち、一日あたりの受付時間は「5～6 時間」の 8 件（33.3%）が最も多い。また、13 時間以上対応する団体は、0 件（0.0%）である。

面接相談の休業日は、「日曜日」の 14 件（58.3%）、「祝祭日」の 11 件（45.8%）、「土曜日」の 9 件（37.5%）が上位を占め、土曜日、日曜日、祝祭日に休業日を設定する団体が多い。

<犯罪被害全般>



<性暴力・DV 等>



■ 直接的支援の支援内容

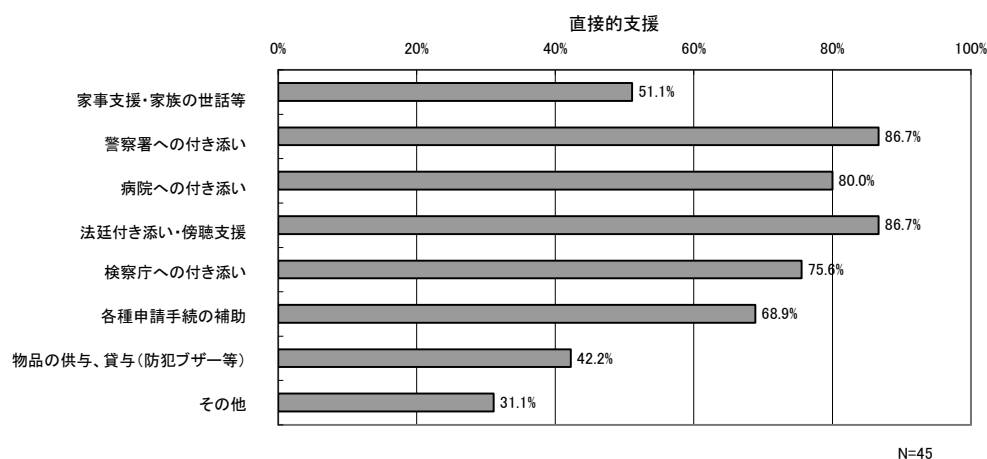
<犯罪被害全般>

直接的支援を行っている 45 団体に直接的支援の内容を聞いたところ、「警察署への付き添い」が 39 件（86.7%）、「法廷付き添い・傍聴支援」が 39 件（86.7%）、「病院への付き添い」が 36 件（80.0%）、「検察庁への付き添い」が 34 件（75.6%）であり、多くの団体が各種機関への付き添い業務を行っている。また、「各種申請手続の補助」も 31 件（68.9%）であり、7 割近い団体が対応している。

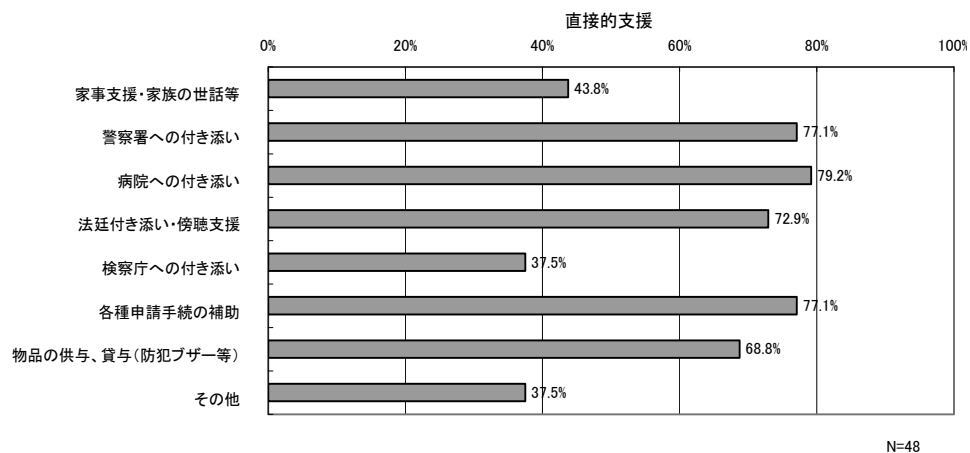
<性暴力・DV 等>

直接的支援を行っている 48 団体に直接的支援の内容を聞いたところ、「病院への付き添い」が 38 件（79.2%）、「警察署への付き添い」が 37 件（77.1%）、「法廷付き添い・傍聴支援」が 35 件（72.9%）であり、多くの団体が各種機関への付き添い業務を行っている。また、「各種申請手続の補助」も 37 件（77.1%）であり、7 割強の団体が対応している。

<犯罪被害全般>



<性暴力・DV 等>



ウ) 相談内容 (問3)

各団体が受ける相談内容 (他機関・団体からの紹介を除く) について、犯罪被害の類型ごとに多い相談内容及び現在被害者からの相談への対応が十分ではなく今後充実すべきと思われる相談について聞いた。

■ 相談内容全体の相談対応状況

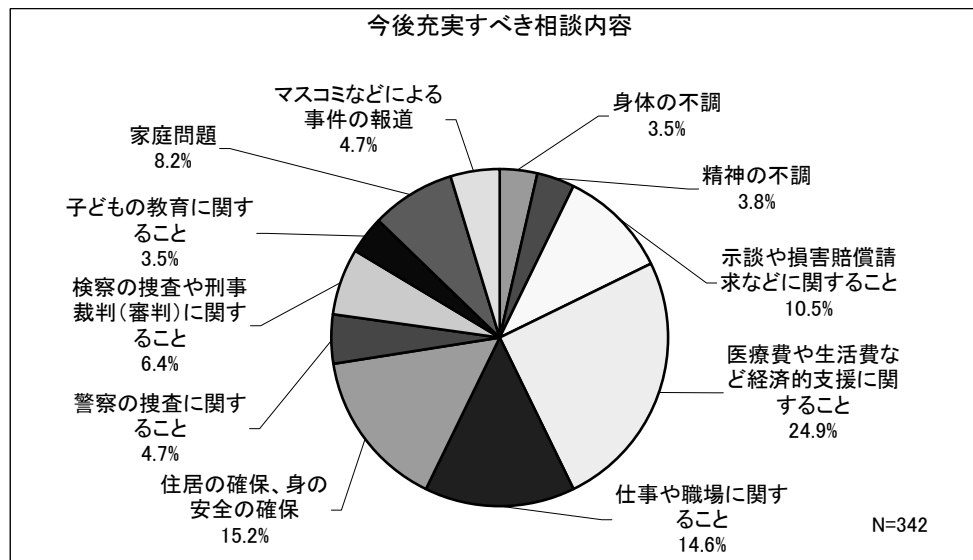
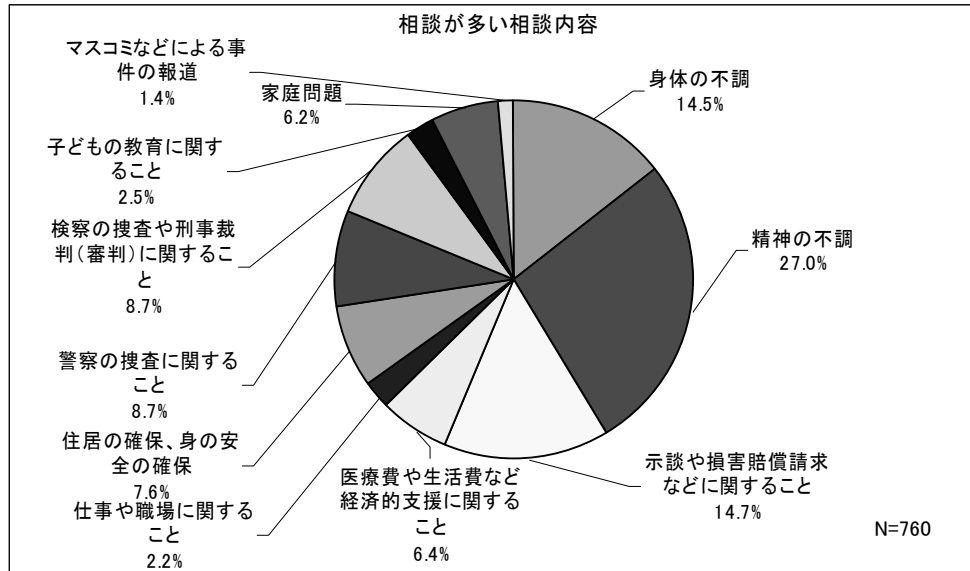
<犯罪被害全般>

相談内容全体としては、「精神の不調」が 205 件 (27.0%) と最も相談が多い。今後充実すべき相談内容として最も多いのは、「医療費や生活費など経済的支援に関すること」85 件 (24.9%) であった。

<性暴力・DV 等>

相談内容全体としては、「精神の不調」が 130 件 (29.7%) と最も相談が多い。今後充実すべき相談内容として最も多いのは、「医療費や生活費など経済的支援に関すること」が 42 件 (14.0%) で、次いで「仕事や職場に関すること」が 41 件 (13.7%) であった。

＜犯罪被害全般＞



<性暴力・DV等>

